

東部購買店便い 8月号

J A静岡市あさはた支店 東部購買：245-7527・購買：245-7555

茶	苺・水稻・蔬菜	柑橘・果樹	女性部（しづはた兼任）	購買
松尾	松尾・小柳・奥田	大塚	大越	橋本・萩原・中村（早）・松下・鈴木 中村（則）・田山

購買店より重要なお知らせ



日頃、東部購買店をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
この度、当店舗は10月から始まる2拠点化に伴い9月末をもちまして営業を終了
させていただくこととなりました。

10月1日からは「北部アグリセンター」にて営業させていただきます。
また営業終了や引っ越し作業に伴い、下記の通り営業時間も変更となります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

〇9/29（火）午前営業/午後閉店 〇9/30（水）終日閉店

「家の光」「地上」「ちゃぐりん」年間購読受付中！

（年間購読 12月号～翌年11月号）

詳しくは最寄のJAへ！

家の光…防災の事やハンドメイド、旬のレシピなどなど、暮らしに役立つ情報が満載です。

ちゃぐりん…「食と農の学習」に役立つ企画がたくさん！勉強と遊びを両立した子供向け雑誌です。

地上…農協運動に参加・参画する仲間づくり、豊かな地域づくりに役だつ記事を提供しています。

除草剤キャンペーン実施中！！



ザッポ
除草剤

専用ノズル1個
プレゼント付

5ℓ ¥19,877 ⇒ ¥18,500

☆150～200倍で草全体にかかるように散布

☆根まで枯らす効果はないが、抑草効果が長い

☆散布後、1時間経過していれば雨でも効果を発揮！

今がお得！
8月末まで！！

500ml 1本
プレゼント付き

タッチダウンIQ

6ℓ ¥13,893 ⇒ ¥12,800



今年もドリンク好評販売中



←ポストニックウォーター
（500ml × 24本）

¥2,500

- ★ 畑作業のおともに、
- ★ お風呂上りの水分補給、
- ★ リラックスタイムに♪



←本物果汁入
スパークリングみかん
（280ml × 24本）
¥3,100 ⇒ ¥2,430

9月末まで！



まだまだ暑い日が続きますので、
この機会にぜひお買い求めください！

ポカリスエット→
（300ml × 24本）¥3,150

㊟の表示の付いた農薬は購入時に印鑑が必要です。

柑 橘

カメムシの発生に注意

8月の発生量は県全体でやや多いと出ていることから、柑橘園へ飛来する可能性が
高いため警戒していただき、極早生、早生等収穫期に入る果実の被害を抑えるために
早めの農薬準備と対策をお願いします。



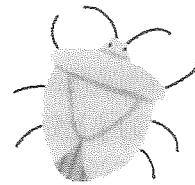
早期発見、早期防除が被害を軽減させるポイントになります、こまめに園地を巡回しましょう。

【効果的な農薬】…スタークル顆粒水溶剤 2,000 倍 前日-3回

ロディー乳剤㊟ 2,000 倍 7日前-4回

【摘 果】

中晩柑で仕上げ摘果が完了していない園地においては速やかに仕上げ摘果を完了させてください。
また、早生温州は9月上旬、青島温州は9月中旬までに仕上げ摘果を実施してください。この時期の
摘果は糖度上昇効果が期待できます。



【防 除】

品 種	時 期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	使 用 基 準
温州みかん 中晩柑	9月中旬	チャノキイロアザミウマ	ロディー乳剤 ㊟	2,000 倍	7日-4回
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000 倍	前日-1回
		黒 点 病	ペンコゼブ水和剤	600 倍	温州 30日-4回 中晩柑 90日-4回

※9月以降のダニは着色に影響を及ぼすため丁寧な薬剤散布を心掛けてください。

・青島温州の浮皮軽減対策

ジベレリン（1～5ppm）+ジャスモメート液剤（1000～2000倍）の散布

散布時期：満開130日後（青島温州で9月上旬中旬頃）農薬と混用は避けてください。

※ボンカン等年内に収穫を実施する中晩柑はペンコゼブ水和剤に代わってナティーボフロアブル
2,000倍（前日-3回）を散布してください。

※台風等の影響により褐色腐敗病の発生が懸念される場合は、ランマンFL2,000倍（前日-3回）
を樹の下半分に散布してください。

落葉果樹

作物名	時 期	病 害 虫 名	農 薬 名	希釈倍率	使用基準
梨	9月中旬	黒 星 病	キノンドーフロアブル	1,000 倍	3日-9回
柿	9月上旬	うどんこ病・炭そ病	ストロベリードライブフロアブル	3,000 倍	14日-3回
	9月中旬	カ メ ム シ 類	テルスター水和剤	1,000 倍	14日-2回
キウイ	9月上旬	果 実 軟 腐 病	ベルコート水和剤	1,000 倍	前日-5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000 倍	前日-2回
梅	9月上旬	黒 星 病	ベルコート水和剤	2000 倍	30日-3回
	9月中旬	ウメシロカイガラムシ	アブロードフロアブル	1,000 倍	7日-2回

茶

秋芽開葉期	炭疽病、もち病 ウンカ、スリップス	クミガードSC スタークル顆粒水溶剤	500倍 2,000倍	7日	混
※ サビ・ホコリダニの発生が懸念される場合は、スタークル顆粒水溶剤に代えて、 ハチハチ乳剤 1,000 倍（14日）  を散布する					
9月中下旬	クワシロカイガラムシ	コルト顆粒水和剤	2,000倍	7日	単
		アプロードエースフロアブル	1,000倍	14日	単

秋肥：秋肥は充実した樹体や根を作るのに重要で、来年の一番茶の品質、収量に影響します。
9月上旬 茶配合6袋／10a当り
※ 肥効を高める為に土壌に水分がある時の施肥、施肥後は出来るだけ土と混ぜて下さい。

水 稲

- 1、水管理
- 出穂前後は多量の水を必要とする。水を切らさないようにしましょう。
 - 出穂期以降は間断灌水とする。（3日間を目安に落水とたん水を繰り返す）
 - 落水は出穂後30日ごろとする。気温が高い年に早期落水すると乳白粒等の高温障害が多発する要因になるので注意しましょう！
- 2、収穫時期
- 1穂中90%の籾が黄金色になったところが目安。
 - 気温が高い日が続くと収穫時期が早まるので、刈遅れに注意しましょう。
- 3、病害虫防除
- ご自身の水田で発生が多くみられる場合や、斑点米被害が心配な方は、下記薬剤の追加散布をオススメします。



対象病害	散布薬剤	倍率	収穫前	回数
カメムシ	スタークル（顆水）	2,000 倍	7 日前	3 回まで
	スタークル（豆つぶ）	250 g / 10 a		
ウンカ	エミリア（フ）	1,000 倍	7 日前	2 回まで

野 菜（秋冬アブラナ科野菜）

ハクサイやブロッコリーなど、秋冬野菜の季節がやってきました。初期成育を順調に行うため、粒剤・灌注処理剤を上手に活用し、初期防除を徹底しましょう！使い方や不明な点は指導員まで！
対象病害虫：アブラムシ・コナガ・ハスモンヨトウなど。詳しくは農薬の登録内容をご確認下さい。

薬剤名	キャベツ	ハクサイ	ダイコン	ブロッコリー
オルトラン粒剤	1～2g/株	1～2g/株	3～4 kg/10a	2g/株
プリロッソ粒剤オメガ※	1～2g/株	1～2g/株	6 kg/10a	1～2g/株
プレバソンフロアブル 5※	100 倍灌注 2,000 倍散布	100 倍灌注 2,000 倍散布	2,000 倍散布	100 倍灌注 2,000 倍散布

プレバソンの灌注はセルトレイ又はペーパーポットのみです。ポリポットへは使用できません。

★指導員よりワンポイント★

上記※はジアミド系農薬(RAC28)です。チョウ目害虫を中心に優れた効果を示します。残効にも優れており、長期間害虫から守ります。連用は抵抗性が発達してしまいますので、ローテーション散布を心がけましょう。その他、購買店では多数の粒剤・灌注剤を取り揃えています。お気軽にご相談ください！

 の表示の付いた農薬は購入時に印鑑が必要です。

いちご

育苗も残りあと1ヶ月程度となりました。花芽分化に向けた肥培管理、定植を意識した本圃の整備など定植に向けた管理及び作業をお願いします。

1、切り離しからの管理

- ① 育苗中の肥切れは芯止まりにつながります。メルク試験紙を用いて、確認しましょう。
→できるだけ地温を下げ、肥料の効きを良くしましょう。（遮光資材推奨）
- ② 8月30日以降の1B化成の施用は控えて下さい。
→9月中旬からは低めの管理を心掛けましょう。（硝酸イオン濃度 50ppm～100ppm）
→葉面散布の場合は3日～5間隔で散布。（EC0.5程度）
- ③ 頭上灌水の方は6時頃と15時頃を目安にたっぷりと灌水を行い、培地の温度を下げる。
- ④ 紙ポットをご利用の方はポットの表面が濡れるように灌水を行い、気化熱を最大限利用する。
- ⑤ 2～2.5枚になる様に適宜葉かきを実施。ポットから抜き根が傷んでいないか確認する。
- ⑥ 最終の葉かきは定植の10日前を目安に行い、定植時は4～5枚となるようにする。

2、炭そ病防除ローテーション（先月号の続き）

「本圃への病害虫の持ち込みがないように定植前はとくに入念な防除を行いましょう。」

時 期		薬 剤	RAC	倍率	主な対象病害虫
9月	第1週 (30日～5日)	ベルコート（水）	M7	1,000	炭疽、うどんこ
		コロマイト（水）	6	2,000	ハダニ
	第2週 (6日～12日)	オーソサイド（水）	M4	800	炭疽
		エコピタ（液）	未	100	うどんこ、ハダニ、アブラムシ
	第3週 (13日～19日)	アントラコール（顆水）	M3	500	炭疽
		プレオ（フ）	UN	1,000	ヨトウ
	第4週 (20日～26日)	キノンドー（フ）	M1	500～800	炭疽
マイトコーネ（フ）		20D	1,000	ハダニ	
定植直前 コガネムシ防除		ベリマークSC	28	1,000 倍 ※灌注 25～50ml / 株	ヨトウ、アブラムシ、 アザミウマ、コガネムシ
10月	第1週 (27日～3日)	オーソサイド（水）	M4	800	炭疽
		マッチ（乳）	15	1,000～2,000	ヨトウ、アザミウマ

※定植前に小苗や本圃のコガネムシ防除を行いましょう。（ダイアジノンSLソル・ベリマークSC）
※天敵放飼後2週間はできるだけ薬剤散布をしないようにしましょう。（放飼前に徹底防除を！）

3、定植時の確認事項

- ① 必ず花芽分化を確認してから定植してください。
- ② 定植後2週間は葉かきしないこと（病害虫の発生が酷い場合は適宜除去）
- ③ 土耕の場合、元肥は定植20日前までに施用しておく。
- ④ 高設の場合、定植1週間前からEC0.4程度で給液を開始する。
- ⑤ 定植時の地温はなるべく下げ、根の活着を促しましょう。（適温は18～23℃）
- ⑥ 定植後最低でも10日間は株元に手灌水を行い、新しい根を出させる。

☆全体検鏡のお知らせ☆

第一回 9/16（水）サンプリング → 9/17（木）検鏡
第二回 9/24（木）サンプリング → 9/25（金）検鏡

- ・検体として種類ごとに3株以上ご用意頂くことをお勧めします。
- ※サンプリングの提供について職員よりお願いさせて頂く場合がございます。
- ・全体検鏡以外の日程をご希望される方は営農指導員へお声かけ下さい。随時実施しております。